

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

トーヨーエイトック株式会社 東広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋台2丁目2番4号

(3) 業種

2641 金属工作機械製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年(2013)年度を基準年度とし、令和4(2022)年度から令和12(2030)年度までの8年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和4年度 (2022)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	3,936	1,392 64.6	3,462 12.0	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	令和4年度(2022)はコロナ禍による部品不足が解消し、本格的な生産活動が再開された。電力の前年度比は増加したが、CN(カーボンニュートラル)活動も開始し、第一段階のエアールール、消灯、設備停止時の電源OFF等の漏れ、無駄のゼロ化活動を継続している。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	電力使用量の削減	令和5年度排出量目標3515t-CO2, 前年度比82t-CO2削減 ※令和4年度(2022)より原単位目標値から政府目標排出量(t-CO2)に変更した。	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率照明器具の導入、生産性向上活動 ・休憩時間、未使用箇所の消灯 ・エアリーク補修等によるコンプレッサー負荷低減 ・エアブロー間欠運転によるエア使用量削減
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物量の削減	原単位で前年度比2%の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチックのリサイクル、リユース ・帳票類の電子化によるコピー用紙の削減
2	水使用量の削減	2020年度レベル維持	<ul style="list-style-type: none"> ・漏水の点検 ・節水器具の導入
3	全員参加型の省エネ活動		<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みの消灯 ・環境会議の開催、情報の共有化・見える化

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。